

この通信は会で話しあわれた内容などをスタッフ、地域の皆様へお知らせする情報誌です。

フレンドシップ木沢通信

VOL. 29

平成 26 年 5 月 18 日発行

情報発信部会作成

-ヤマの匠プロジェクトによる定住促進と永住促進-



4月23日、新たな体制で第1回フレンドシップ木沢定例会が開催されました。各プロジェクト部会から今年度の計画が提案され全員で内容を確認しました。震災から10年目という節目の今年、これまで以上に実りのある一年にしたいと思います。皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。

◎各プロジェクトの部会から年間活動計画が提案されました

★やまぼうしプロジェクト部会(部会長：星野秀雄、副部会：長星野正良)

◆目標

集落の全員が関われる場、集落内外の人が集い・くつろげる「寄り合いの場」づくり
(⇒交流の拠点づくり)

◆活動計画案

- ・青空市の検討・試行
- ・絆の交流会開催＝震災から10周年を記念し、中越大震災以降ボランティア活動や地域づくり活動などの交流により集落に訪れた皆さんとの絆を更に深める会を計画します。
- ・雪かき道場の実施(継続)
- ・お茶会の開催(継続)＝集落の寄りあいの場の提供

★山と虹プロジェクト部会(部会長：星野隆一、副部会長：星野靖)

◆目標

楽しい思い出ができて、また来ようと思える事業を進める

◆活動計画案

- ・森林浴広場の整備＝草刈、雑木の伐採、ベンチ周辺の整備、チップ敷き、遊具の整備など
- ・ファミリーを中心とした自然体験学習「キッズトライキャンプ 夏・秋・冬」の開催。
など

★情報発信部会(部会長：間野光晴、副部会長：星野靖)

◆目標

会ややまぼうし、地区の情報をタイムリーに発信する

きてみて最高！われらが木沢

ブログ・http://blogs.yahoo.co.jp/fs_kizawa

◆活動計画案

- ・ホームページ、ブログ、フェースブックによる情報発信
- ・集落内や名誉村民への情報発信＝フレンドシップ木沢通信などによる
- ・パソコン教室の開催 など

★災復興記念誌制作部会（部会長：星野正良、副部会長：間野光晴）

◆目標

- ①震災とその歩みを風化させることなく、後世に語り継ぐと共に、記念誌が集落の未来に向っての道しるべ・希望となることを目標とする
- ②今までの支援に対する感謝の気持ちを伝えること。支援をいただいた個人や関係団体、東日本大震災の被災地など全国へ記念誌を発信する。

◆活動計画案

- ・震災復興記念誌の発行
- ・関係者、東日本大震災被災地への送付など

◎やまぼうし管理部会からの報告

◆4月16日に開催された第1回やまぼうしお茶会の報告



南魚沼市からお出でいただいた田中俊子さんによる大型紙芝居。北越雪譜や昔の雪国を題材に、興味深いお話をしていただきました。その後、まかない班のお昼が振る舞われました。

◆その他、5月の予定や施設の管理の状況について報告がありました。

◎その他

★春日さんが2年ぶりに川口へ～川口サテライトのメンバー紹介がありました～



当日定例会に参加した春日支援員より、4月1日から支所2階にある「長岡地域復興支援センター川口サテライト」へ2年ぶりに異動し、佐々木支援員と2名体制になったとの報告がありました。

これからも木沢地区など川口地域の活動支援に頑張りたいと話されていました。

きてみて最高！われらが木沢

ブログ・http://blogs.yahoo.co.jp/fs_kizawa

■活動状況報告です。

◎新潟大学のサークル「越後∞（えちごや）」と打合せ



今日（4月29日）、昭和の日に平成生まれの越後屋が木沢にやって来ました？

もっと分かり易くいうと、越後∞を中心とする新潟

大学の学生15名（院生含む）がフレンドシップ木沢の構成員と年間スケジュールの打ち合わせを兼ねたハイキングをするためにやって来た、もしくはハイキングを兼ねた打ち合わせをするためにやって来たということです。

何はともあれ最高にうれしいことです。今後とも越後∞とはうまくやっていきたいものじゃのお～（^^）

いろいろ企んでくれそうだし、、、フフ。

※フレンドシップ木沢FBより

◎木沢の春を満喫～山菜ふれ愛ツアー～

5月5日・6日に山菜ふれ愛ツアーが開催されました。参加者は17名、1日目の山菜採り体験、2日目の木沢まるごとオリエンテーリングと春の木沢を満喫していただきました。



* * * * *

【次回会議】フレンドシップ木沢定例会
5月23日（金）19：30～

きてみて最高！われらが木沢

ブログ・http://blogs.yahoo.co.jp/fs_kizawa